

質問事項に関する回答

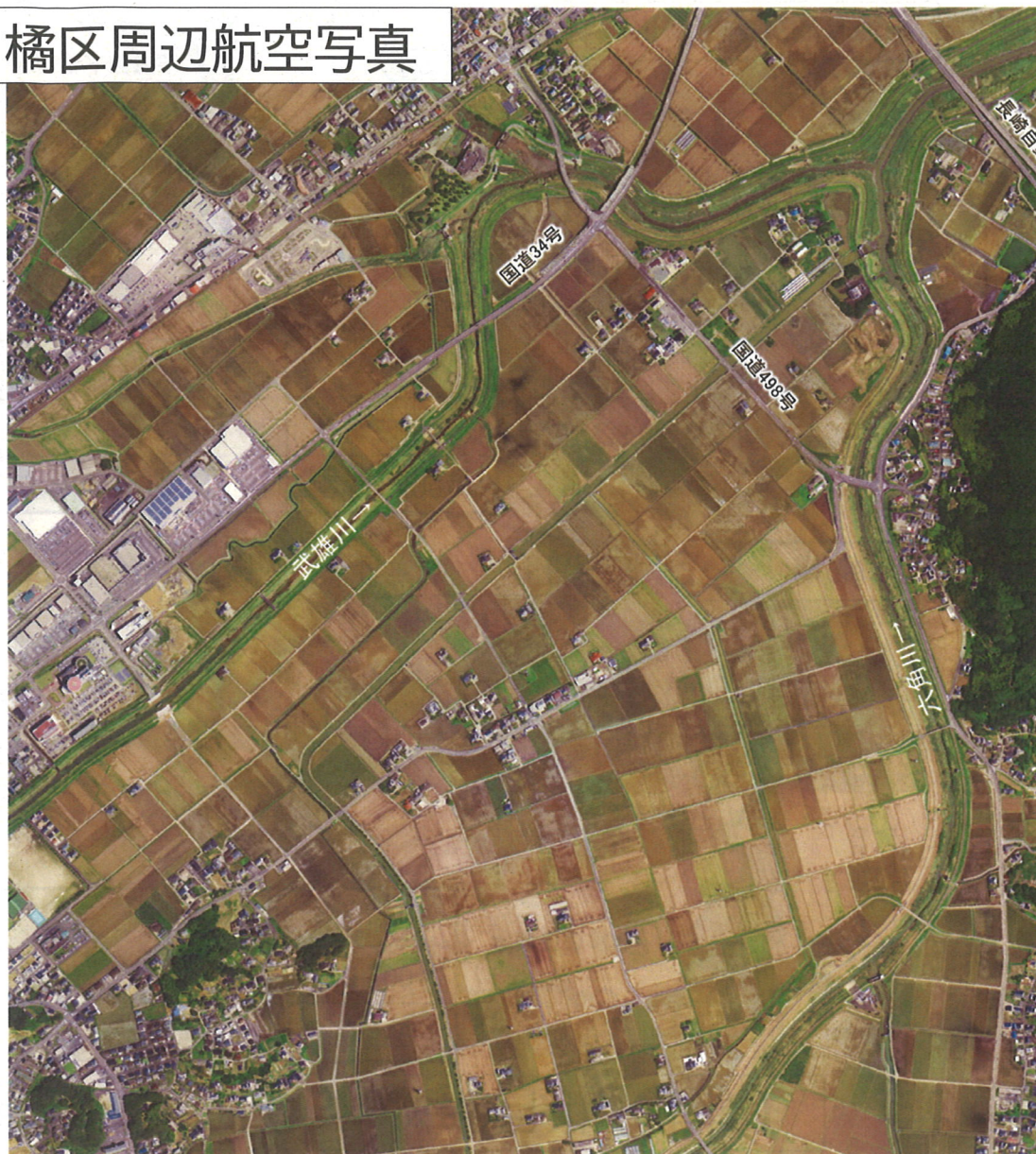
武雄河川事務所、佐賀県、武雄市
令和8年10月8日

質問事項

【4】 六角川左岸側対策（遊水地関係）

【5】 計画をまちづくりに生かすことについて

橘区周辺航空写真



質問

【4】遊水地

家屋かさ上げ・移転が検討事項に書かれていますが、対象地区は？

回答(国)

・遊水地事業に関わる家屋かさ上げ・移転については、事業範囲が定まっていないため、補償内容を明確にお答えできる状況にありません。
・今後、事業を進めていく中で、計画が具体化すれば、対象地区の方々
に計画をお示ししながら、協議を進めていきます。

質問

【5】まちづくり

遊水地帯になる方々の移転先として、橘町内に受け入れ皿を整備する必要があるのでは？

回答(市)

具体的な計画は今後、住民の方と意見交換しながら策定してまいります。生業とコミュニティの維持に配慮しながら、まちづくりと一体となった河川整備や流域対策を進める方針です。

質問

【4】遊水地

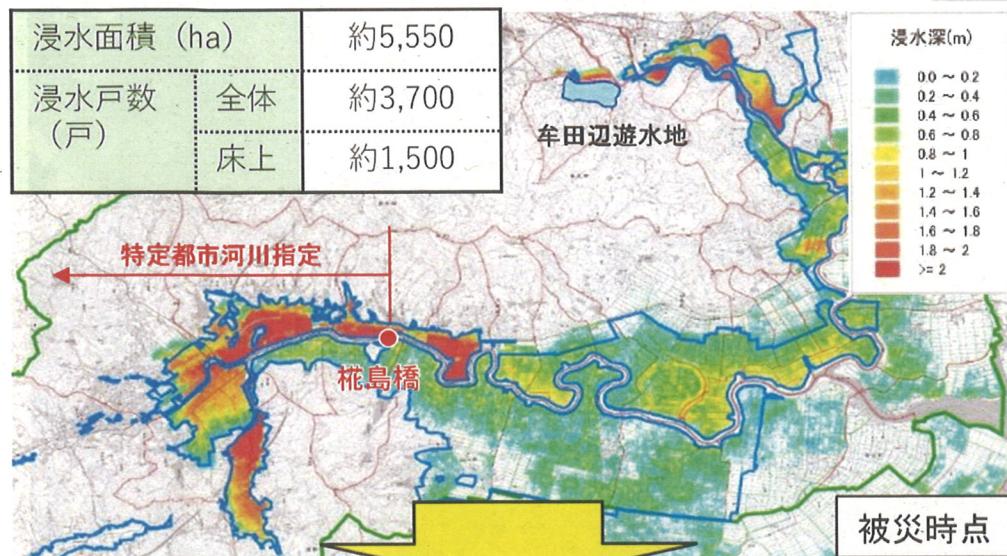
・計画案には「検討中」の項目が複数含まれているが、修正の可能性は？

回答(国)

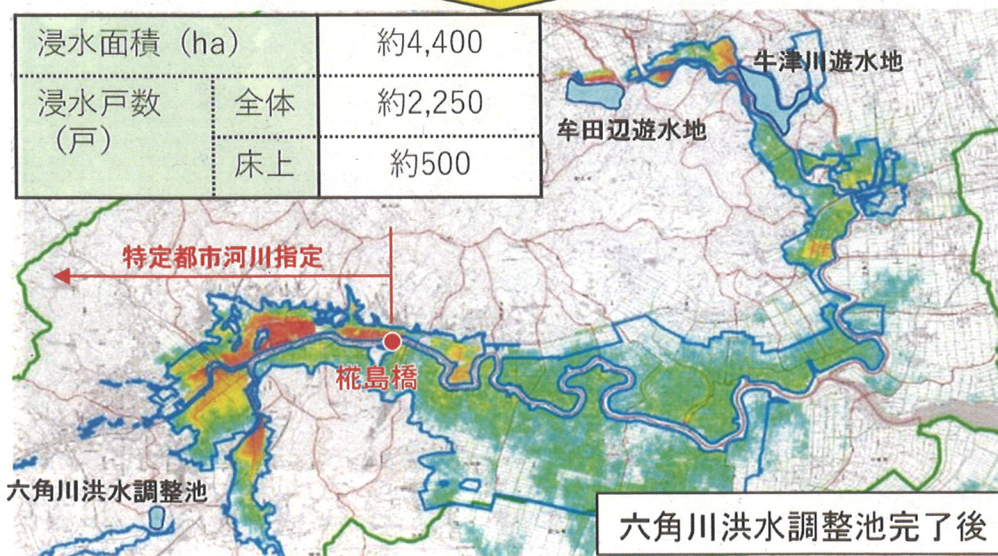
・令和7年3月28日に六角川流域水害対策計画を策定しております。
・事業を行うにあたり計画の変更が必要であれば修正を行いますが、必要でない場合は、現行計画のまま事業を進めることになります。

浸水リスク（令和3年8月洪水規模）

— : R3. 8実績浸水区域
— : 六角川流域界



河川整備により、浸水戸数は減少するが、約500戸の床上浸水が残る
※特定都市河川流域における床上浸水戸数は約400戸



質問

【4】遊水地

二俣や沖永地区では、板橋排水機場がフル稼働すれば浸水被害は減少するのではないかと？そうであれば遊水地の整備等が必要ないことになります。

回答(国)

- ・近年の雨の降り方や気候変動の影響を考慮すると、計画規模を超える様な大雨が発生した場合には、六角川の水位が上昇するため、排水機場をフル稼働させることは困難な状況となります。
- ・そのため、あらゆる関係者が協働し流域全体で雨水を貯めて、上手く流していく取り組みとして、流域水害対策計画の一つである遊水地の整備があります。六角川の水位をしっかりと下げて、浸水被害を軽減させることが重要となります。

質問

【5】まちづくり

橘町に遊水池計画があるが、武雄町などの市街地部の遊水地も必要ではないか？遊水地の選定基準はどうだった？

回答(国)

- ・牟田辺遊水地や牛津川遊水地と同じように、河川が合流する箇所等地形的に水が集まりやすく地域であること、効率的かつ効果的に洪水カット出来る場所など確認しながら遊水地整備箇所を選定しています。

※各時点の解析結果は、直轄管理区間からの越水及び内水による浸水を考慮したもの

地元説明会の開催状況



令和7年12月16日二俣地区



令和8年 1月12日沖永地区

質問

【4】遊水地

これまで橘地区で行われた説明(市報やパブリックコメントなども含む)の経過を教えてください。

回答(国)

- ・現在、二俣地区、沖永地区を含む周辺地域を対象に説明会を実施。
 - ◎令和7年12月16日二俣地区
 - ◎令和8年 1月12日沖永地区
 - ◎令和8年 4月12日鳴瀬地区
- ・また、今年度実施予定の測量や地質調査について、関係する地区の役員に対して説明会を実施。
 - ◎令和8年6月30日二俣地区
 - ◎令和8年7月 9日沖永地区
- ・引き続き、住民の方々の意見をお聞きながら事業を進めていきます。



令和8年 4月12日鳴瀬地区(総会時)

・ 遊水地の仕組み

(令和7年12月16日二俣地区、令和8年1月12日沖永地区の説明資料より抜粋)

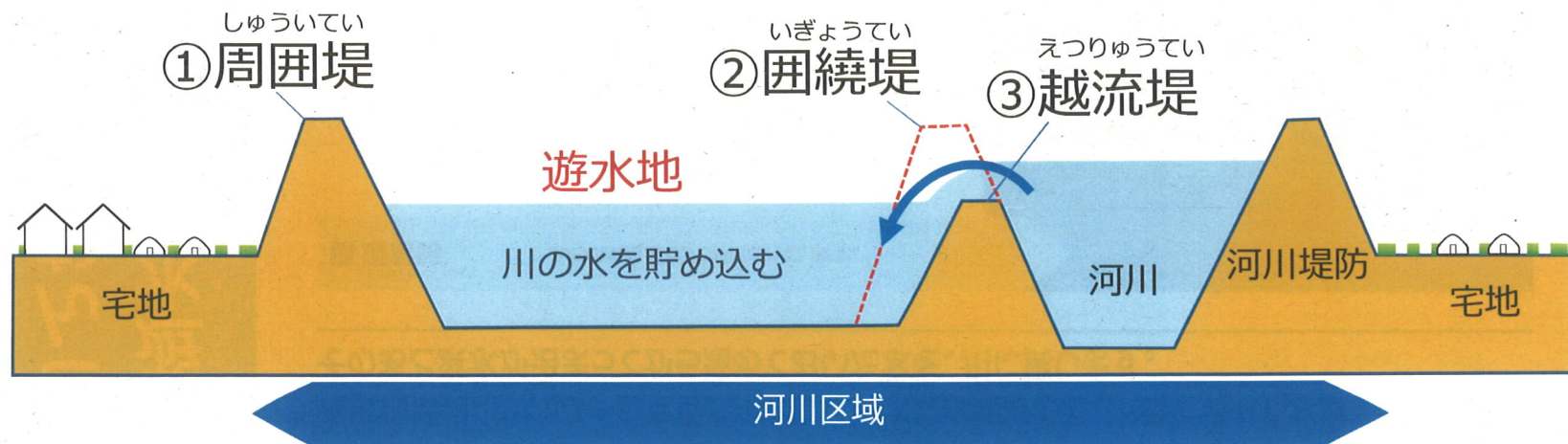
I 遊水地とは

遊水地の概要

遊水地は、洪水で川の水が増えた際、その水を一時的に貯め込み川の水位を下げる機能を持っています。

遊水地のしくみ

- ①周囲堤：遊水地の周囲を囲む堤防
- ②囲繞堤：遊水地と河川の境界の堤防
- ③越流堤：②のうち河川の水を遊水地に流す区間

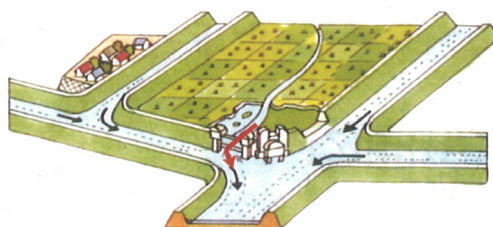


「遊水地」って、 こんな仕組みなんだ。

遊水地は、川沿いの一部を堤防で囲い、洪水の水を貯めて、下流に流れる水量を減らします。
そのあと洪水が治まってから溜めておいた水を、川に戻します。

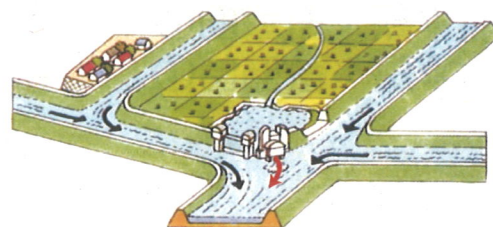
■ 通常時

ふだんは、田畑として利用されています。



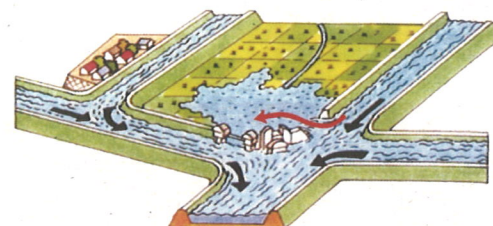
■ 中小洪水の時

中小洪水のときには、遊水地内に貯まった水をポンプで川に汲み出し、水田などが浸水しないようにします。

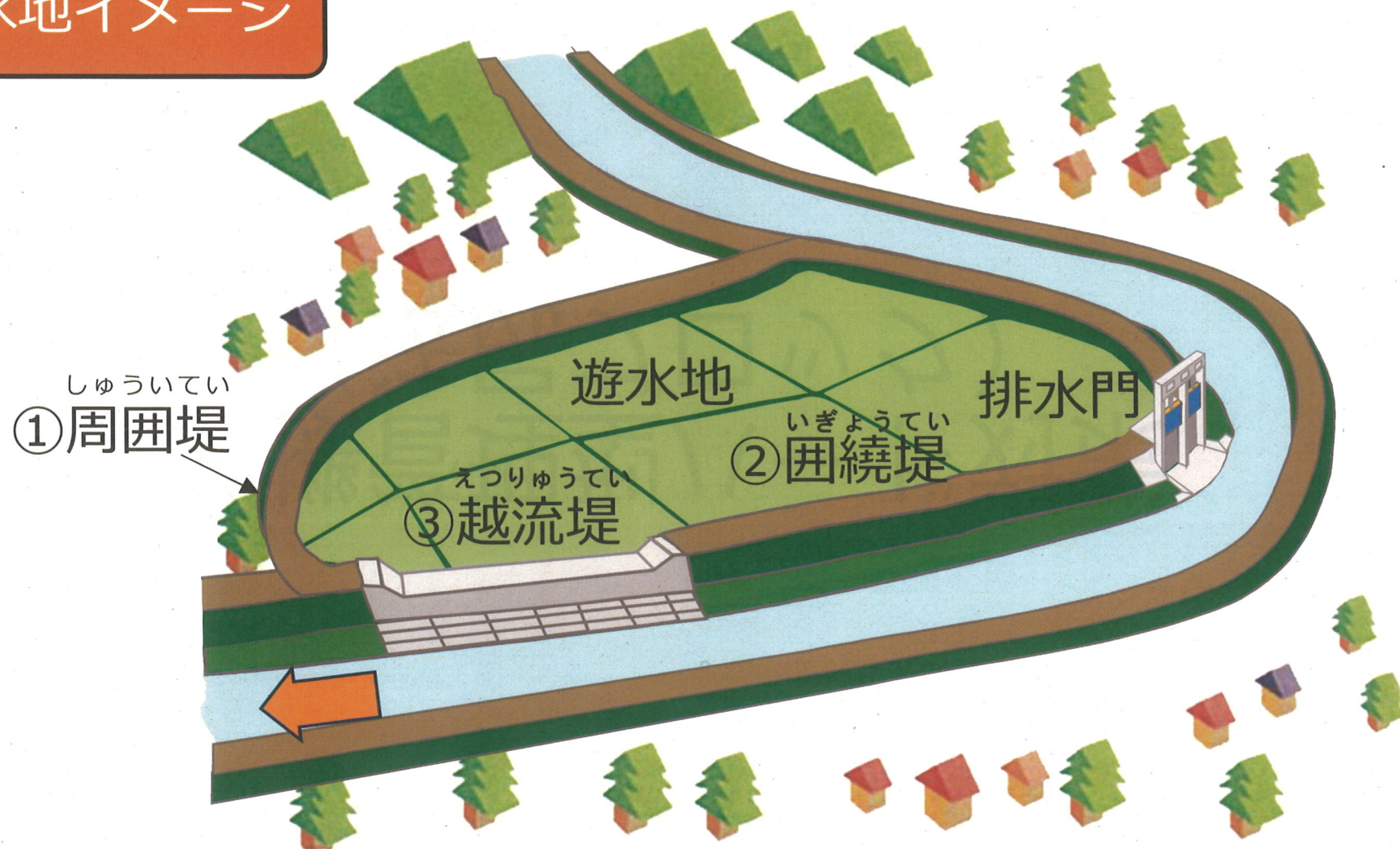


■ 大きな洪水時

牛津川の水位が高くなったときには、牛津川の水を越流堤から遊水地に導き、下流へ流れる水の量を減らします。



遊水地イメージ



危機管理型ハード対策 (法尻ブロック)

質問

越水対策の張りブロックは越水を前提にしていることが疑問。景観・草刈りにも課題。

回答(国)

・近年、全国各地で水害が激甚化・頻発化する中、「施設では防ぎきれない大洪水は発生するもの」との考えに立ち、堤防から越水した場合において、流水による堤防法尻部の浸食を防ぐことにより、堤防の決壊を遅らせ、避難時間等を稼ぐため、法尻にブロックを設置しています。

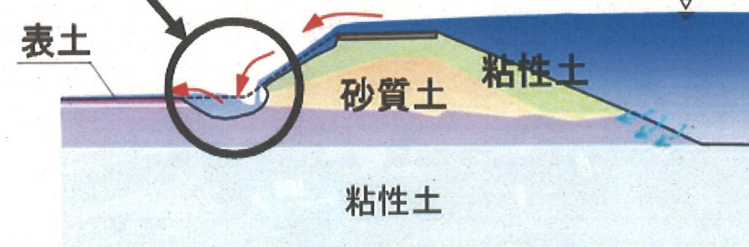
・また、ブロックの隙間から生えている草については、現在、防草対策を持続性、経済性の面から最適な対策を検討し、試験施工を実施しています。



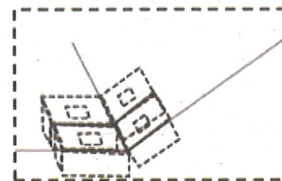
【5】まちづくり

堤防裏法尻の補強

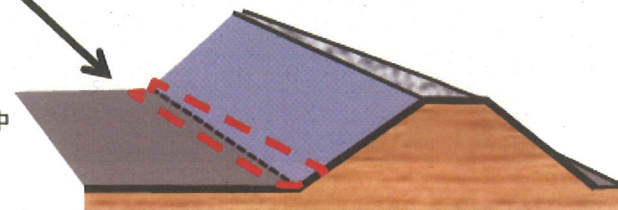
裏法尻をブロック等で補強し、越水した場合には深掘れの進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



堤防裏法尻をブロック等で補強



※ 具体的な工法については検討中



被災状況（令和元年台風第19号の被災を踏まえた河川堤防に関する技術検討会より）



千曲川左岸57.5k付近の決壊箇所

被災状況（東日本大地震 仙台南部海岸）



東日本大地震 仙台南部海岸三面張護岸被災（平成23年10月22日撮影）

試験施工（武雄市橘町）

納手地区実施状況



令和8年7月撮影

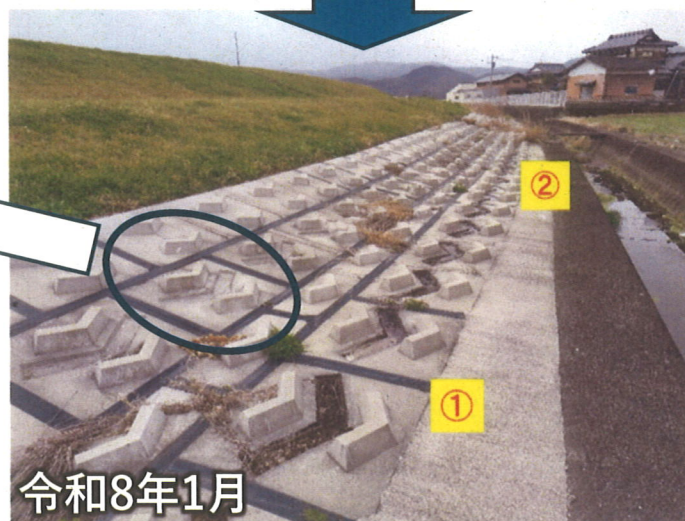


参考：試験施工（大町町）

耐久性を比較する
ため、材質の違う
4種類のテープを
使用し、防草対策
の試験施工を実施



拡大写真



ヨシ繁茂抑制対策

六角川水系 ヨシの繁茂状況

六角川水系に繁茂する「ヨシ」は水を流れにくくし、洪水時には水位を上昇させてしまいます。また、令和元年8月や令和3年8月洪水の一因となっているため、水の流れへの影響が少なくなるようヨシをある程度除去する必要がありますが、再繁茂が著しく早いため、伐採しても短期間で元に戻ってしまいます。



令和元年8月洪水時の六角川

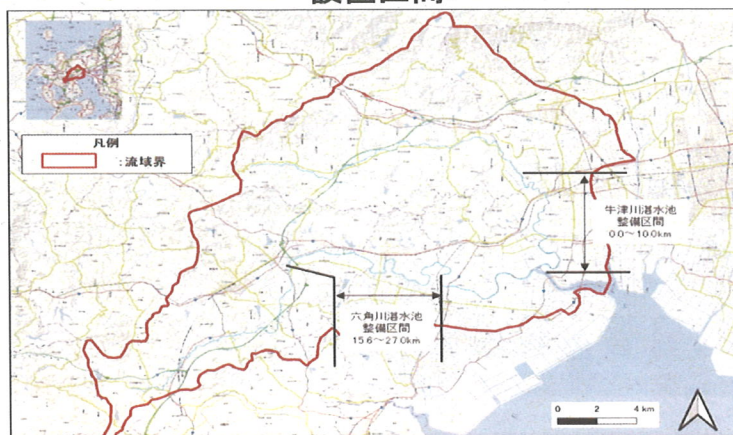


平常時の六角川

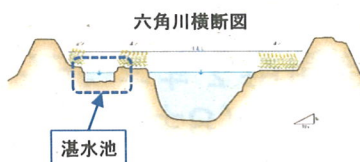
湛水池の設置（六角川水系）

過去の調査結果から、水深が常時0.5m～1m程度あればヨシが繁茂しないことが分かったため、河川敷に「湛水池」を設置し、水の流れをスムーズにしています。

設置区間

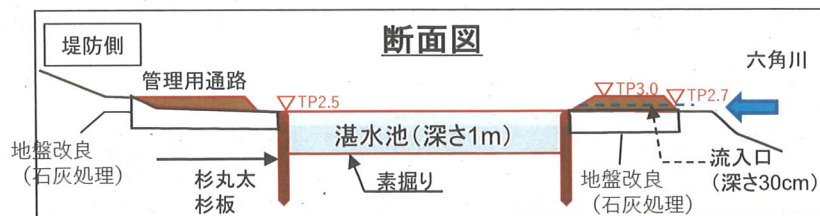


構造



- ・池周りは、杉の丸太と板で囲って保護しています。
- ・流入口は約2mでブロックで保護しています。

断面図



全 景



流入口から水がはいる様子



大潮の時に、この部分から池に水が入るように高さを決めています。

大潮の時に、流入口から水が入っています。



湛水池の設置（六角川水系）

質問

【5】まちづくり

「六角川本川内のよし繁茂抑制対策プールは草だらけで効果に疑問」「堤防内外の刈草頻度が年2回では不足」などの声がある。
また、ヘドロ(ガタ土)の遡上により、プールがすぐ埋まってしまうことも想定される。

回答(国)

- ・ヨシの繁茂抑制対策として整備した湛水池内には、ヨシは繁茂しておらず、洪水時に水が流れやすくなる効果があります。
- ・湛水池内の水の流入については、池の水深を確保するため大潮時にうわ水だけを入れ込む構造で、堆積しにくい仕組みとなっています。
- また、水深50cmが確保されていれば、ヨシは繁茂しないことが分かっておりますので、引き続き、モニタリングしながら維持管理に努めていきます。
- ・堤防除草の目的は、堤防の維持管理を行うことであり、年2回(台風期前点検、出水期前点検)実施しています。

工事完了時の状況



現在の状況



すべてのヨシを伐採せず、水際部のヨシ原は存置しています。
湛水池周りの伐採した箇所はヨシが再繁茂していますが、湛水池の水面部分ではヨシの生育が確認されていません。

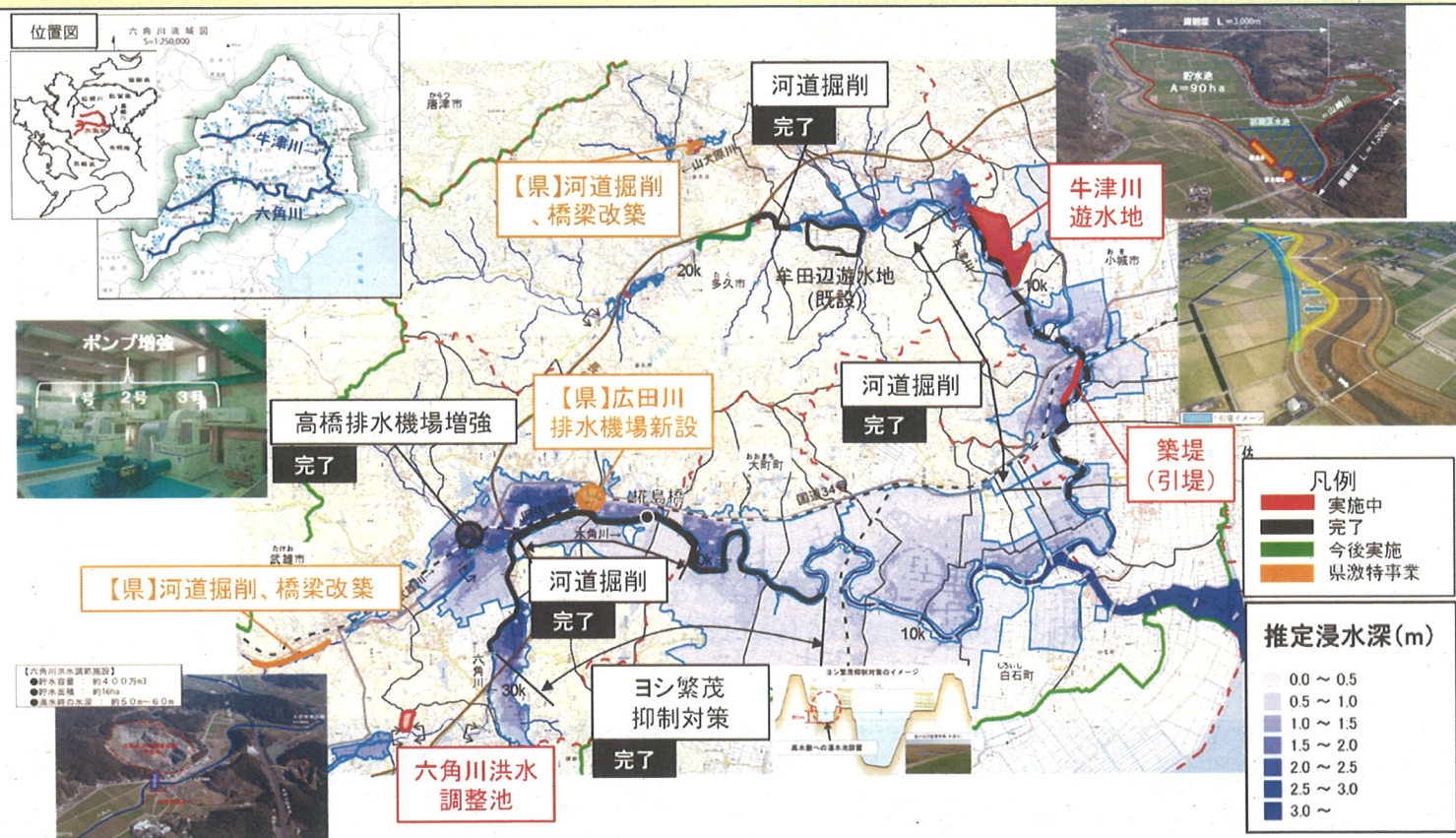
質問

【5】まちづくり

「各施策の完成まで長年要する」「このままでは内水氾濫地域から住民が流出する」「長期になる計画なので、この間をどうするかが問題」と将来を不安視する声が多い。

回答(国、県、市)

- ・令和元年8月、令和3年8月出水以降、早期に治水効果を出すために、川の中で最大限実施できる河道掘削・ヨシの繁茂抑制対策を実施し、水位を下げる対策を行ってきた。
- ・引き続き、上流で進めている六角川洪水調整池や遊水地事業などの大規模事業の調整を進めながら、現在、東川流域で検討中の「高頻度洪水対策(高頻度で発生する洪水の対策)」を実施していくこととしている。



御船山から武雄市を望む

